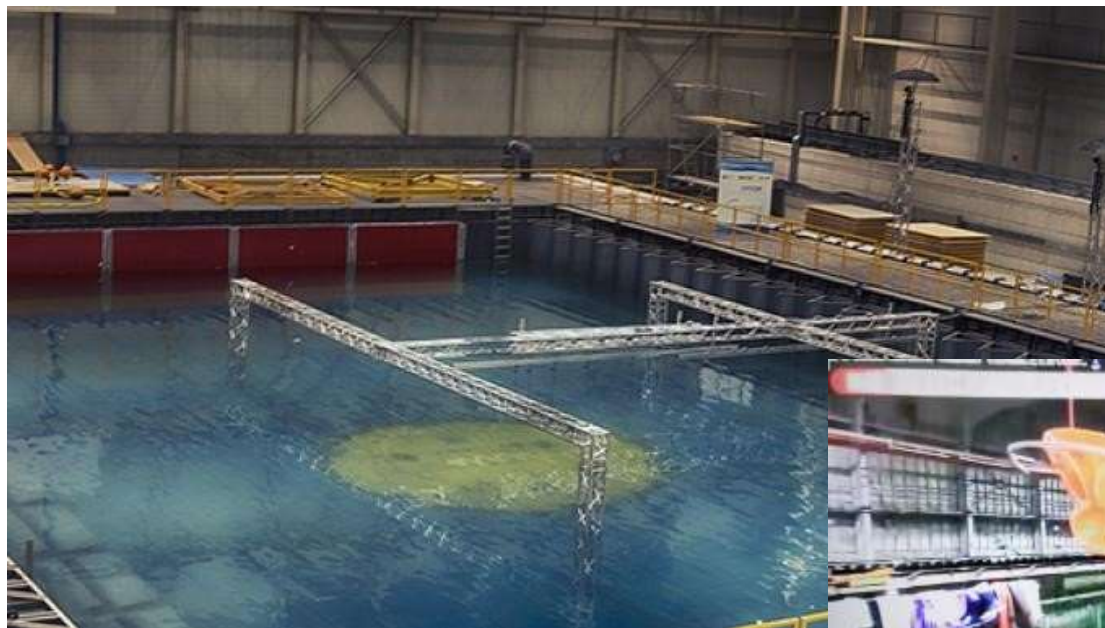


水産工学研究所大型水槽に採用！



写真①波浪平面水槽全景

ご担当者の声：

この水槽では1/200スケールでの実験が行われています。床面でのゆがみや凹凸は実験のデータに大きく影響する為、きわめて緻密な工事が求められました。工事面積約1600m²の床に求められた水平レベル±2mm。施主様のご要望に応えるために目地を入れることもせずに施工を試みました。ひびが入ることもなく見事な床面の仕上がりにとっても満足しています。期待通りのニュークリートでした。



写真②実験の一コマ

■茨城県神栖市にあります水産工学研究所の実験水槽の実績をご紹介します。

■水産工学研究所は2019年に40周年を迎えた由緒ある研究所です。本研究所が所有する「波浪平面水槽」（写真①）は沿岸部におけるさまざまな波の動きを再現できる日本トップクラスの大型実験水槽であり、NHKなどではさまざまな波の実験の様態をよく紹介されております。今年4月に発生した「知床観光船遭難事故」の実証実験（写真②）をこの施設で行い、その様態はネットやテレビでも放映され注目されました。

■この水槽では昨年、実験装置としてさらにグレードを上げるために水槽の底の改修工事を行いました。その際に弊社商品ニュークリートセカンドが使用されました。約1600m²、水平レベル±2mmという厳しい条件もクリアし、目地を入れることなくひび一つ入っていない状況に関係者のみなさんは「この広い面積で初期クラックがないのは凄い！」「イスラエルの技術はさすがだ！」と大変驚かれ、仕上がりの良さに喜ばれていました。

本工事おきましては、施工をご担当頂きました常盤工業㈱様が事前の実験を重ね、最適な配合等をご研究頂き、そのデータに基づき施工をして頂きました。

1m³に対して1袋300gが基準適正量ですが、今回のような特殊なケースの場合には各現場、求められる結果をご考慮頂きまして、試験練り等も踏まえ、事前の実験等での確認作業を行って頂いた上での打設をお願い致します。

■工事データ：

施工者：常盤工業㈱
監理者：国立研究開発法人水産研究・教育機構水産工学研究所
施工年度：2021年4月～9月
施工場所：茨城県神栖市波崎7620-7
工事正式名称：浅海域水槽平滑化工事
施工現場の広さ：約1600m²
打設のコンクリートの厚み：5mm～35mm
使用の目的：床面レベリング材のひび割れ防止の為